

令和4年8月1日現在		
区分	会員数	平均年齢
男	147人	73.5歳
女	54人	76.6歳
計	201人	74.3歳

事務局だより

令和4年8月号

7月は、「安全・適正就業強化月間」でした。安全・適正就業について、全ての会員、役職員が、個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心な」シルバー事業の展開を図ることとされてきました。

鹿島市シルバー人材センターの取組や事故の状況をご報告します。8月も猛暑が続いています。会員の皆さまにおかれましては、体調管理にご留意いただき、安全・安心な就業に心がけていただきますようお願い申し上げます。

安全就業促進大会に参加しました。

- 日時 : 7月5日(火)
- 場所 : 佐賀市 アバンセホール
- 内容 : 開会の言葉 安全・適正就業委員会 委員長 百田勝利
会長あいさつ
表彰
事例発表
講演「高年齢労働者の安全と健康」
報告「県内及び全国の事故発生状況について」
佐賀県交通安全啓発事業「SAGA BLUE PROJECT」
大会宣言 委員長 百田勝利
閉会

※鹿島からの出席 理事長以下 12名

令和2年度から、会員の高齢化もあり、傷害事故は再び増加傾向にあるため注意していただくようお願いがありました。



○安全就業宣言

私たちシルバー人材センター会員は、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、無事故を目指し、安全就業について宣言します。

- 一、安全保護具をきちんと着用し、安全に作業することに努めます。
- 一、就業途上では交通ルールを守り、交通事故には十分注意します。
- 一、健康には常に気を配り、無理のない就業に努めます。

令和4年7月5日

公益社団法人 佐賀県シルバー人材センター連合会
安全就業促進大会

○安全就業対策は、家を出る前から始まっています。

お出かけ前自己チェック

- 朝起きた時の体調は良好であるか
- 就業の場所と時間は確認してあるか
- 作業内容は確認してあるか
- 会員証など携行品は準備できているか
- 仕事内容にあわせた服装・資機材は準備できているか
- 家族に作業現場を伝えてあるか
- 忘れ物がないか確認をしたか

※日頃から健康管理に努め、無理をしたりあわてたりすると事故の発生率が高くなることを認識し、余裕をもって家を出るよう心掛けてください。



ご注意ください！ 事故の発生状況について。

令和4年度（8月8日現在）の事故の発生状況について報告します。
これまで、傷害事故4件、賠償事故1件が発生しています。

事故の内容	発生日	性別	年齢	仕事の内容	事故状況
傷害 通院1日	R4.6.30	女	74	草取・草刈・屑処理	草取作業中、体調不良により救急搬送された。熱中症と診断を受けた。（熱中症）
傷害 通院1日	R4.7.27	女	72	草取・屑処理	草取作業中、右手甲、右手のひら、右手人差し指、3カ所を蜂に刺された。（蜂刺され）
傷害 通院1日	R4.7.27	女	76	草取・屑処理	草取作業中、左手首、1カ所を蜂に刺された。（蜂刺され）
傷害 通院1日	R4.8.5	男	72	草刈・屑処理	草の中に蜂の巣があるのに気付かず、草刈作業をしていたところ、すずめ蜂が飛んできて、右手中指、左手親指の2カ所を刺された。（蜂刺され）
賠償	R4.6.15	男	80	剪定屑回収・処分	本城へ剪定屑を置きに行った帰り、センター軽トラック(No.1459)をバックしていた際に、停車してあった軽自動車に接触した。

（※シルバー保険適用、センター加入の自動車保険適用分のみ記載）

★就業中に事故が発生したら、直ぐに事務局へご連絡ください★

シルバー保険が下記の場合に適用されます。

- ・ 傷害保険～会員本人が身体に傷害を受けた場合
熱中症も補償の対象となります。
- ・ 賠償責任保険～会員が就業中に他人の身体、財物に損害を与えた場合

注）シルバー保険は、交通事故（物損・人身）は対象となりません。
就業中は又は就業途上において、自動車やバイク・自転車などを起因とした賠償事故が発生した場合は、自動車などの自賠責保険や任意保険が優先されるため、ご自身が加入している自動車などの保険で対応してください。

佐賀県安全就業スローガン

「事故防止 油断と自信が 落とし穴」

新型コロナウイルス感染症にも警戒を

7月に入り、新型コロナウイルス感染者数は県内・市内ともに過去最多となり、急激に増加しています。会員の皆さまやご家族にも感染される方が目立ってまいりました。

事務局にご連絡いただいている会員の感染者は、今年度に入り6名（8月1日現在）となっています。

いずれも軽症で自宅での療養をされており、すでに就業に復帰されている方もいらっしゃいますが、感染の経路が不明の方もいらっしゃいます。

夏場は冷房器具を使用するため、換気が不十分になります。感染防止のため定期的な換気を行い、基本的な感染対策もお願いします。

またこれまで以上に健康観察や感染対策を徹底していただき、発熱やのどの痛みなど体調に異変があれば、医療機関を受診してください。

新型コロナウイルスに感染された場合は、事業所として必要な対応（濃厚接触者の可能性などのチェック、発注者との就業の調整など）や県連合会への報告などが必要になりますので、必ず事務局へもご連絡ください。

熱中症予防のために

暑さを避ける!

- 扇風機やエアコンで温度をこまめに調節
- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- 外出時には日傘や帽子を着用
- 天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩
- 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

「熱中症警戒アラート」発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する!

- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分・塩分などを補給

熱中症予防のための情報・資料サイト

熱中症予防のための情報・資料

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiyuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisai/

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも何もしないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気配りを、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状

めまい、立ちくらみ、生あくび、筋肉痛、大量の発汗、嘔吐、めまい、失神、意識低下、体温低下

病状がすすむと...

応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

- エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難
- 衣服をゆるめ、からだを冷やす(首の周り、顔の下、足の付け根など)
- 水分・塩分、経口補水液などを補給(※水に食塩とブドウ糖を加えたもの)

自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、**119** ためらわずに救急車を呼びましょう!

ご注意

- 暑さの感じ方は、人によって異なります。その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。
- 暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機や体調の変化に気をつけましょう。
- 高齢者や子ども、障がいをお持ちの方は、特に注意が必要! 熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

厚生労働省

2022年版 新型コロナウイルス 感染拡大防止

への協力をお願いします

ワクチン接種後も、「マスクの着用」や「手洗い」、「3密(密接・密集・密閉)回避」などを徹底してください。

正しく使おうマスク!

会話時は必ず着用!

- 鼻の形に合わせてずき間をふさぐ
- あご下まで伸ばし顔に密着させる
- 鼻出しマスク× あごマスク×
- 重ねたら外側は触らない
- ひもを持って着脱
- 品質の確かな、できれば不織布を

こまめにしよう 手洗い・手指消毒!

こんなタイミングでは必ず!

- 共用物に触った後
- 食事の前
- 公共交通機関の利用後 など

指先・爪の間・指の隙や手首も忘れずに洗いましょ!

目指そうゼロ密!

一つの密でも避けましょ!!

密接 密集 密閉

マスクなし× 大声× 大人数× 近距離× 換気が悪い× 狭い所×

体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。ワクチン未接種の方は接種をお願いします。